



Watanabe's

藍師・染師

徳島県上板町を拠点に、藍の栽培から染（すくも）づくり、染色、製作までを一貫して手掛けています。乾燥・発酵させた藍葉からつくる「染（すくも）」を用い、日本の伝統技法「天然灰汁発酵建て」で染め上げる藍色は、深く美しく、力強い存在感を放ちます。

自然、この土地、そして発酵菌という目に見えない「神様」たちから授かる藍は、無限の可能性を秘めています。その魅力を多くの人々に届けたいという思いから、「藍建てキット」を開発しました。藍色が発酵という宇宙の中で生まれる奇跡を、まっすぐに感じてほしい。そして、藍色が日常の色として愛される存在となることを願っています。

古き良き日本の伝統を受け継ぎながら、新たな視点で藍の魅力を発信し、国内外でさらに広く展開していきます。

染（すくも）



藍染の原料となる染（すくも）は、畑で収穫した葉藍を乾燥させ、寝床に広げて水を打ち、満遍なくかき混ぜながら発酵させることでつくられます。「寝せ込み」と呼ばれる始まりの日から百日以上をかけ、十数回にわたる「切り返し」を経て染が完成します。

発酵のピーク時には、染の中心部が摂氏 75 度近くに達し、寝床全体に湯気が立ち込めます。その際には、むせ返るほどの強い匂いが漂います。五感を使って観察し、発酵の様子をつぶさに感じ取る。目には見えないものの、寝床の中はまさに生き物の世界で満ちています。



日本を代表する藍「ジャパンプルー」を自宅で体験
藍（すくも）の発酵染色、天然藍染めキットがついに登場！



株式会社 Watanabe's（徳島県上板町）は、藍染めの材料である「藍（すくも）」の生産を自社で行う藍染工房です。近年、環境負荷の観点から自然由来の天然染色の需要が高まり、中でも「ジャパンプルー」として日本文化と深い繋がりを持つ「藍染め」は、多くの関心を集めています。

藍染めに使う染色液を「発酵」させてつくる工程は、「藍建て（あいだて）」と呼ばれます。世界にはさまざまな材料や手法による藍建てが存在しますが、日本特有の「菜（すくも）」を用いた藍建ては、日本の発酵文化や染色文化を象徴する技法として、国内外から高い注目を集めています。

しかし現在、「伝統」という言葉が先行し、どこか敷居が高くなり、閉鎖的で情報や技術が一般に伝わりにくい状況にあります。一方、江戸時代に藍染めの技術と文化が大きく発展した背景には、それが特権階級だけでなく、庶民の生活に広く浸透していたことが挙げられます。

「聞いたことはあるがよくわからない」「職人のやる難易度の高い技術」

こうした世間のイメージを払拭し、より多くの方に楽しんでいただくため、「菜藍建てキット」を5年の歳月をかけ、130回のテストを重ねて完成させました。

「菜藍建てキット」は、日本の藍染め職人たちが古くから行ってきた藍建て手法「天然灰汁発酵建て（てんねんあくはっこうだて）」を子どもから大人まで誰でも自宅で体験できるようにしたものです。お子さまの自由研究やアクセサリー、手芸材料の染色にも最適です。

また、藍職人によるわかりやすい「藍建てキット」の説明動画や、よくある質問に対する動画解説、さらに職人の現場から届けられる最新情報を楽しめる YouTube チャンネルもご用意しています。

染身体験だけでなく、その発酵の様子を観察することで、日本の藍染め文化の奥深さを存分に感じていただけます。

菘藍建てキット

「菘藍建てキット」は、日本の藍染め職人たちが古くから受け継いできた、染色液を発酵させてつくる藍建ての手法「天然灰汁発酵建て（てんねんあくはっこうだて）」を、子どもから大人まで誰でも自宅で体験できるようにしたものです。



○藍建てに使用する材料



菘（すくも）
乾燥葉藍を発酵させてつくる
藍染の染料



貝灰（かいばい）
貝殻の灰＞発酵菌のミネラル
分摂取に使用



麩（ふすま）
小麦の殻＞発酵菌のエネルギー
となる



木灰（もくばい）
木の灰＞発酵菌の活動する
環境づくりに使用

○菘藍建キットは4サイズを展開

※販売価格（税込）



ミニキット ¥5,500



小キット ¥33,000



中キット ¥88,000



大キット ¥187,000

<それぞれのサイズの特徴>

・ミニキット 1.2L > 菘（すくも）や「天然灰汁発酵建て（てんねんあくはっこうだて）」、日本の藍染めについて、発酵の仕組みや過程を楽しく学ぶことに特化した商品です。初めての方や経験者の練習用としても最適です。

・小キット 15L・中キット 30L・大キット 60L > 藍建てや維持管理をしながら、本格的に藍染めを楽しみたい方におすすめです。染めるものの大きさや量、体験人数に応じてサイズをお選びください。



○藍建ての流れ

例：ミニキット（液量 1.2L / 容器 1.5L）



1. 各材料を規定量入れて混ぜる
2. 毎日攪拌する
3. 発酵状態を色でチェックする
4. 発酵が進むと色が出て濃くなっていく

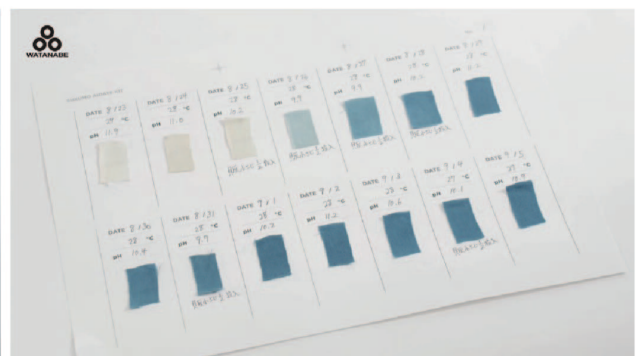
○薬藍建キットでの染色と楽しみ方



十分に発酵した染色液 → 写真：45cm 角のバンダナをムラクモ染め染色液に数分浸し、引き上げて十分に酸化させる → 2,3 回水を変えながら優しく水洗いする



出来上がり！
バンダナ 綿 100% (45cm x 45cm)



染色だけでなく、日々の染色液の記録や変化を記入し、観察を楽しめます

※別途、推奨容器、温度計、pH 計等のご準備が必要となります。

※染色液の使用期間は、発酵染色液の管理状況や染色量によって異なります。

ミニキット～大キットの使用期間目安は 1 ヶ月～6 ヶ月と想定しています。

Watanabe' s での実績としては、ミニ・小キットでは 6 ヶ月、中・大キットでは 1 年間使用可能です。